

識字学級に学ぶ

1 目標

- (1) 北代色さんの手紙「夕やけがうつくしい」を読み、差別により奪われたものについて考えるとともに、文字を識ることは生きる喜びそのものであることを知る。
- (2) 識字学級の人々と出会い、その生きざまを知ることにより、差別の不合理に気づき、人間としてのあたたかさやたくましさにふれることができる。
- (3) 学ぶことの意味とこれからの自分たちの生き方について考えることができる。

2 学習計画 全4時間

- (1) 「夕やけがうつくしい」を読んで(1時間)
- (2) 識字学級生との出会い(2時間)
- (3) 学ぶことの意味について(1時間)

3 展開

- (1) 「夕やけがうつくしい」を読んで

主な学習活動	留意点
<ol style="list-style-type: none"> 1 手紙の原文を読む。 2 「夕やけがうつくしい」を読んで、疑問に思うことやもっと知りたいことを出し合う。 3 字を覚えてから北代さんの生活がどのように変わったかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文字を覚えてから、北代さんの生活はどのように変わったのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前(字を習う前)はどうだったか ・後(字を習った後)どうか 4 もっと知りたいことや識字学級生に聞きたいことなどを話し合う。(次時につなげる) 	<p>資料1 「夕やけがうつくしい」 (P45)</p> <p>疑問や知りたいことを出すよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ学校へ行けなかったのか ・「しきじがっきゅう」とは何か ・なぜ「夕やけがうつくしい」と思ったのか ・勉強したい、長生きをしたいと思ったのはなぜか <p>資料2 ワークシート(P47)</p> <p>ノートに書く</p>

ちたくしはうちがびんぼうで斬つたので
がっコラへいっておりました。
だからじませんせんしりませんでした。
いましきもがっまゆうでせんまようして
かなはだいたいおぼえましました
いままでおいしやういってをうけつけて
なまえまかいてもらってましたがためし
にじゆんでかいてためしてみました。
かんごふさんが北代さん とよんでくれたので
大へんうれしかったです。

タヤけを見てもあまりうつくしいと
思はなかつたけれどもおぼえて
ほんとうにうつくしいと思つたように
なりました、子持をあるいておっても
かんばんにきをつけてなつた
レを見つけると大へんうれしく思います
アッとおぼえたのでスパーやまくよう
いちやくのもたのしみになりました。

またリトかんへ行ってもへやのばん
ゴウをおぼえ方のはともがなくな
かりましたこれからはかんばつて
もっともまくとぐんまようをしたいです。
十年ながいままもしたいく思います。

四十八年三月二十八日

北代色

参考資料：識字学級について

【識字学級のあゆみと現状】

日本の識字学級は、昭和38年福岡県で開設されたのがはじまりとされ、やがて全国に広まってきました。「電車やバスに乗るとき行き先がわからない。病院や役場へ行っても住所と名前を書くことができない。選挙に行きたくても字を書くことができないため、あきらめる。買い物に行っても計算ができない。運転免許をとりたくても試験の文章がわからない。」など文字の読み書きができないことは、人間としての必要な最低限の文化的な生活を奪われることとなります。

このような実態の中から文字を学ぶ運動が各地で展開されるようになり、被差別部落を中心に識字学級が開設されていきました。

【読み書きができなかったのはなぜ】

同和問題解決の取り組みの中で、被差別部落に集中的に文字の読み書きができない人々がいることが明らかになりました。明治以後も差別が続き、小さいときから子守奉公に出たり、家業を手伝うなど学校に行きたくても行けない生活をおくらざるを得なかった現実がありました。社会生活を営むうえで大切な、教育を受ける権利や安定した仕事に就くことがなどが保障されてこなかったのです。

識字学級は、被差別部落を中心に取り組まれてきましたが、現在では、市民を対象にした夜間中学校や在日外国人を対象にした識字学級、さらに点字・手話を中心にした活動等もあります。

高知県教育委員会 「心からの笑顔を求めて 識字は生きる喜び」 2000

補足資料：識字学級の様子



「心からの笑顔を求めて 識字は生きる喜び」 2000 高知県教育委員会

手紙文「タヤけがうつくしい」(北代 色)を読んで

()年 ()名前()



「文字を覚える前」と「文字を覚えた後」は、生活はどう変わりましたか。手紙に書いていないことも想像して書いてみよう。

〈文字を覚える前〉

〈文字を覚えた後〉

○お医者さんに行った時

() () () ()

○タヤけを見た時

() () () ()

○看板を見た時

() () () ()

○買い物に行った時

() () () ()

○旅館へ行った時

() () () ()

○

() () () ()

【感想】

(2) 識字学級生との出会い (2 時間)

主な学習活動	留意点など
<p>1 識字学級生に話を聞く。</p> <p>2 聞きたいことやもっと知りたいことについて質問する。</p> <p>3 質問についての話を聞く。</p> <p>4 識字学級の学びから感じたことや、話を聞いて思ったことを分かち合う。</p>	<p>識字学級を訪問して交流できない場合は、事前に識字学級のビデオなどを通じて学習する。</p> <p>交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 識字学級の活動のようす ・ 識字学級に通うわけ ・ 生きがいについて ・ 文字を覚えることができている生活はどのように変わったのか。 <p>識字学級で学んでいる内容だけでなく、真剣に学んでいる学級生の様子や表情などに気づき、文字を識ることや識字学級への思いについて考えられるようにする。</p>

(3) 学ぶことの意味について (1 時間)

主な学習活動	留意点など
<p>1 「夕やけがうつくしい」をもう一度読み、北代さんが奪い返したのについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文字を知ることで北代さんが奪い返したもの</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文字 言葉 人権 生きがい よろこび 夕焼けが美しいと感じる心 感動する心 笑顔 自信 思い出 自由 ふるさと 差別に立ち向かう勇気 なかま など</p> </div> <p>・ グループごとに発表する。</p> <p>2 学ぶことの意味について話し合う。</p> <p>3 今までの学習をふりかえり、まとめの感想を書く。</p>	<p>文字が読めず文字が書けないことは、日常生活の中で「自由に行動すること」「自分の意見を述べること」を妨げることを意味することを知る。</p> <p>ブレンストーミングで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 差別とたたかい、のり越えていくことは、文字だけではなく暮らしが広がり、生きる喜びにつながることに気づく。 <p>学ぶことが生活と結びついていることや自分自身の生き方につながることに気づけるように支援する。</p>